

そ び ょ う ら い さ ん

素描礼讃

きし だりゅうせい

き む ら し ょ う は ち

岸田劉生と木村莊八



岸田劉生《麗子之藏》1918年 笠間日動美術館蔵

そ
素

描とは、外国の言葉で「デッサン」や「ドローイング」とも言う、えんぴつや木炭など主に単色の線で描かれた絵のことです。一見シンプルで色もあまりありませんが、これもれっきとした作品です。

色がなくてさびしい?いえいえ、一本一本の線をよく見てみましょう。濃い線、淡い線、太い線、細い線、曲がった線、まっすぐな線、力強い線、やさしい線……いろいろな線が集まって絵になっているのが分かりますね。線だけなのに、立体感があったり、色はないのに質感の違いが表現されてたり、カラフルな絵具で描かれた絵とは一味違って、素朴だけどとても味わい深い作品です。

素描の魅力、ぜひ美術館で本物を味わってみてください。図工や美術の授業の参考になるかも!

会期: 2019年 4月 20日(土) ~ 6月 23日(日)

時間: 午前10時~午後5時、金曜日・土曜日のみ~午後8時 (入場は閉館30分前まで)

休館: 月曜日 (4月29日、5月6日は開館)、5月7日

会場: うらわ美術館 ギャラリーABC

観覧料: 一般 610円 大高生 410円 中小生 200円 (各種割引あり)

主催: うらわ美術館

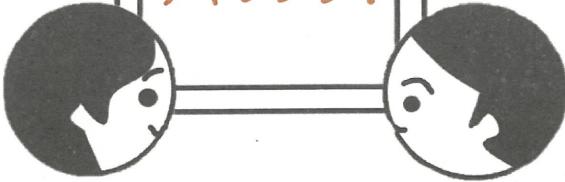
企画協力: 日動美術財団

同時
開催

CUT OUT! 切抜きの冒険

「本をめぐるアート」コレクションより

かんしょう
鑑賞に
チャレンジ!



なにか
何が描かれていますか？

どんな場面だと思いますか？

ほかに
他に発見したことはありますか？



うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM

2019年4月 No.47

すてっぷ
ステップ1

すてっぷ
ステップ2

すてっぷ
ステップ3

さくひん
作品をじっくり見てみましょう。

おも
きにゅう
思ったことを記入しましょう。

どうしてそう思ったのか、

おも
うち
ひと
とも
つた
あ
お家のの人や友だちと伝え合いましょう。



木村莊八《『名作聞書』挿絵》1955年 うらわ美術館

題名をつけてみましょう！

CUT OUT ! 切抜きの冒険

「本をめぐるアート」コレクションより

会期：素描礼讃展と同時開催

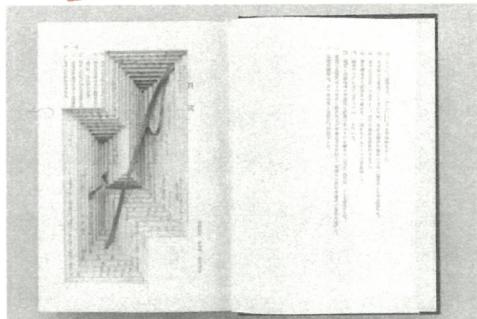
時間：素描礼讃展に準ずる

休館：素描礼讃展に準ずる

会場：うらわ美術館 ギャラリーD

観覧
無料

芸術的に切り抜かれた本!?



中尾寛《神奈川県史段段》2016年 うらわ美術館蔵

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3階

TEL 048-827-3215 fax 048-834-4327 <https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>

この印刷物は6,000部作成し、1部当たりの作成費用は、4円(概算)です。